学校番号	１００７

令和３年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活支援技術	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	介護技術						
使用教科書	「生活支援技術」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・介護とは何かについて、実技を通して学んでいきましょう。
・介護の意義や役割、目的などについて理解し、基礎的な介護技術を身につけましょう。
・利用者の気持ちや生活歴、ライフスタイルを理解して、生活を支援するための技術や態度を身につけましょう。

２　学習の到達目標

自立を尊重した生活を支援するための介護の役割について理解するとともに，自立生活に向け，サービス利用者一人一人の生活している状況を的確に把握し，介護するための基礎的な知識と技術を習得することを目標とします。また，習得した知識と技術を用いて，様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育成することを目標とします。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	介護に関心を持ち、自立を尊重した生活を支援することに主体的に取り組むとともに、サービス利用者一人ひとりの状況を的確に把握し適切かつ安全に支援できる態度を身につけている。	自立を尊重した生活を支援することに向けて思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	基礎的な介護技術を身につけ、福祉に関する諸活動において、その技術を適切かつ安全に活用している。	生活支援の考え方を理解し、自立に向けた生活支援技術に関する基礎的な知識を身につけるとともに、他職種の役割や協働の意義を理解している。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク レポート	学習状況の観察 プリントの記述 レポート 定期考査	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク 実技テスト	学習状況の観察 プリントの記述 レポート 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1・2	生活支援の理解	・尊厳と自立生活支援 ・生活支援の考え方 ・生活支援に向けたリハビリテーション ・生活支援を必要とする人の理解 ・福祉用具を活用した生活支援 ・多職種連携によるチームアプローチ ・介護における他職種の役割	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	○ ○ ○	a: 利用者の尊厳を重視した生活支援に関心を持ち、リハビリテーションやチームアプローチなどを理解したうえで生活支援方法について探求しようとしている。 b:利用者の尊厳を重視した生活支援のあり方を考え、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。 c:利用者の尊厳を重視した生活支援を行う上で必要な資料や情報を収集し、介護場面において適切に活用している。 d: 利用者の生活、尊厳を重視した生活支援のあり方を理解した上で疾患、障がいの形態、他職種が持つ役割などについて理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 小テスト 定期考査
2	生活支援に向けたアセスメント	・介護過程による個別の介護計画 ・アセスメントの目的 ・アセスメントの基盤となる生活支援技術	 ○ 	○ 	 ○ 	 ○ ○	a: 利用者の尊厳を重視した生活支援に関心を持ち、ＩＣＦの視点によるアセスメントの方法を探究しようとしている。 b: 利用者の生活に応じた個別の介護計画のあり方を考え、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。 c: ＩＣＦの視点によるアセスメントに取り組む上で資料や事例を適切に活用し、実際の介護活動の取り組みについて的確に考えをまとめ発表することができる。 d: 利用者の生活、尊厳を重視した生活支援のあり方を理解した上で、アセスメントの方法などについて理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 小テスト 定期考査

1・2・3・4	自立に向けた生活支援技術	・居住環境の整備 ・家事の介護 ・身支度の介護 ・移動の介護 ・食事の介護 ・入浴・清潔保持の介護 ・排泄の介護 ・睡眠の介護	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 利用者の尊厳を重視した生活支援に対する介護に関心を持ち、必要な介護技術を意欲的に学ぶ態度を身に付けている。 b: ＩＣＦの視点に基づき、利用者の心身の状態や状況に応じた望ましい介護のあり方について思考を深め、的確に表現しようとする能力を身に付けている。 c: 日常生活の中で起こる介護の具体的な場面を想定し、利用者一人一人の状況を把握した適切かつ安全な介護技術を正しく実践に移すことができる。 d: 安全で安楽に介護するための技法やボディメカニクスについて理解し、知識として身に付けている。	学習状況の観察 プリントの記述 小テスト 定期考査
4	終末期・緊急時の介護	・終末期ケアの意義と介護の役割 ・終末期における介護技術 ・緊急時における対応 ・災害時における安全対策	○ ○	○	 ○ ○	○ ○	a: 終末期や緊急時の介護のあり方に関心を持ち、必要な知識・技術を探求しようとしている。 b: 終末期や緊急時における介護のあり方についてその望ましい方法について思考を深め、的確に表現する能力を身に付けている。 c: 終末期や緊急時の介護に関する事例を題材に、実際の介護活動の方法について的確に考えをまとめ発表することができる。 d: 終末期や緊急時の介護のあり方についてその基礎的な理論を理解し、知識として身に付けている。	学習状況の観察 プリントの記述 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。